

1月31日 放送集会でのお話

今日は放送委員さん達が「パブリックスピーキング」ということで、一人一人発表してくれました。
放送委員の皆さん、ありがとうございました。
皆さんしっかり、はっきり発表できました。

校長先生からは、「お話が上手になるには」という話をします。
人前でどきどきしないですぐ話したいなど思ったことがありますか？

それは特別なことではなく、お話することをお仕事にする
お笑い芸人やアナウンサーも政治家もそして先生達もみんな思っています。

みんなはじめから上手な人なのではなく、
「うまく話せたな」という体験を積み重ねて
「僕は、私は、人前で話せる人かもしれない」と思えてきたからこそ、
上手になってきた人達です。

お話が上手になるためには、2つ必要なことがあります。
まず一つ目は、
大好きな人に話したいことを話すことを繰り返すこと。
聞いて欲しい人に、聞いて欲しいことを伝えることは、
一番楽しいことですし、したいことでもあります。
リラックスした気持ちで楽しく伝える体験をたくさん積み重ね、
それとともに伝わって嬉しかった体験が加わると、
「自分は伝えたいことを話せるな」「うまく話せたな」という感覚が
次第に大きくなっていきます。

もう一つは、聞く人の問題です。
話している人が何を伝えたいのかなど、話をしている人の言葉だけでなく、
表情や仕草も見ようとして、
その人の方を向いて、「そうか、そうか」と頷きながら聞くと
話してる人は「あ、興味をもってくれてる」「分かってくれてる」と嬉しくなっ
てますます話がしやすくなります。
そうするとどんどんどんどん話すのが上手になります。

全ての人は話し手でもあり、聞き手でもあります。
たくさん話してよく聞く。
これが、みんなが「話し上手」になるために必要なことです。

早速、今日からやってみてくださいね。